**レボカルニチンFF静注1000mgシリンジ「フソー」**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 弊社販売製品 | 標準製剤（同一成分薬） |
| 製品名 | レボカルニチンFF静注1000mgシリンジ「フソー」 | エルカルチンFF静注1000mgシリンジ |
| 会社名 | 扶桑薬品工業 |  |
| 販売開始年月2 | 2022年6月 | 2017年12月 |
| 薬価1 | 384円/筒 | 810円/筒 |
| 診療報酬上の扱い | **後発品（銘柄名収載）** | **先発品** |
| 薬効分類名2 | レボカルニチン製剤 |
| 規制区分2 | 処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること） |
| 組成・性状２ | 有効成分（1シリンジ（5mL）中） | レボカルニチン　1000mg |
| 添加物（1シリンジ（5mL）中） | pH調節剤：塩酸 | 希塩酸（pH調整剤） |
| 性状 | 無色～微黄色澄明の液 | 無色～微黄色澄明の注射液 |
| pH | 6.0～6.5 | 6.0～6.5 |
| 浸透圧比(生理食塩液に対する比) | 約7 | 約7 |
| 効能・効果2 | **【標準製剤と同じ】**カルニチン欠乏症 |
| 用法・用量2 | **【標準製剤と同じ】**通常、レボカルニチンとして1回体重1kgあたり50mgを3～6時間ごとに、緩徐に静注（2～3分）又は点滴静注する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、1日の最大投与量は体重1kgあたり300mgとする。血液透析に伴うカルニチン欠乏症に対しては、通常、レボカルニチンとして体重1kgあたり10～20mgを透析終了時に、透析回路静脈側に注入（静注）する。なお、患者の状態に応じて適宜増減する。 |
| 貯法2／取扱い上の注意2 | 室温保存／ピロー包装は使用直前まで開封しないこと。 | 室温保存／ブリスター包装は使用直前まで開封しないこと。 |
| 有効期間2 | 3年 | 36箇月 |
| 製品画像 | シリンジピロー包装 |  |
| 包装 | （ルアーロックタイプ）5mL 10シリンジ | スリップタイプ：5mL×10シリンジルアーロックタイプ：5mL×10シリンジ |
| 備考 |  |

1. 令和7年3月7日の薬価基準改定告示に基づく

2. 電子添文を参考に記載

 弊社販売製品：2022年2月作成(第1版)、標準製剤（同一成分薬）：2020年11月改訂(第1版)